

きりすて

こたえ

切り上げ・切り捨てを使って

ひょうじゆん

標準 ③

- ① 百の位までのがい数にします。切り上げたとき、切り捨てたときの数を書きましょう。

もとの数	380	1240	615	2709	999
切り上げ	400	1300	700	2800	1000
きりすて 切り捨て	300	1200	600	2700	900

- ② 380円のおかし、240円のジュース、315円のパンを買います。1000円で足りるかどうかを、切り上げて見積もりましょう。

しき

$$400 + 300 + 400 = 1100$$

こたえ

足りないかも

- ③ 620円の本、480円のノート、930円の絵の具を買います。合計が2000円をこえるかどうかを、切り捨てて見積もりましょう。

しき

$$600 + 400 + 900 = 1900$$

こたえ

こえない

- ④ どちらで見積もるとよいですか。あてはまるほうに○をつけましょう。

持っているお金で足りるか知りたいとき

多めに (切り上げ) 少なめに (きりすて
切り捨て)

目ひょうの金がかくをこえたか知りたいとき

多めに (切り上げ) 少なめに (きりすて
切り捨て)

おうちの方へ

- 「足りるか」を知りたいときは、多めに (切り上げて) 見積もって足りればあんしんです。「こえるか」を知りたいときは、少なめに (切り捨てて) 見積もってこえていればたしかです。
- ②：切り上げると1100円で1000円をこえますが、じっさいの合計は935円。切り上げの見積もりは「多め」になることをおさえます。③：切り捨てると1900円でこえませんが、じっさいは2030円でこえます。切り捨ての見積もりは「少なめ」です。